

稲美町イメージキャラクター「いなっち」

会だより



子ども議会を開催
(10P)

7月臨時会

9月定例会

小中学校体育館に空調設備設置へ..... 2P

6年度決算を認定 4P

議会構成決まる 9P

まちづくりをどうする 13人が一般質問 12P

定例会

9月定例会は8月28日に招集され、9月26日までの30日間の日程で開かれました。13人の議員が一般質問を行い活発な議論を展開し、6年度決算、7年度補正予算、条例の改正、工事請負契約、人事案件など24議案を認定・可決・同意しました。

今期定例会の傍聴者は延べ7人でした。

なお、6年度決算認定は、特別委員会を設置し、4日間をかけて審査しました。（4～6ページ）

小中学校体育館の空調設備

いよいよ設計始まる

一般会計補正予算
(第2号)○小中学校体育館の
空調設備設計委託料
を予算措置

小学校5校及び中学校2校の空調設備設置に向け、設計委託料が予算化されました。

主な質疑

問 来年の夏から空調設備を使用できるのか。

答 できるだけ早く7校同時に設置したいと

考えているが、エアコン機器の準備ができるのか、また、付帯する電気設備工事の有無などの課題もあるため、時期については今後検討する。

問 採用する空調の熱源は。

答 電気またはガスを検討している。

問 国からの補助金等を活用するのか。

答 財源については国の補助金等の活用も検討したが、できるだけ早く設置するため、緊

急防災・減災事業債を活用する。

○高校生世代にデジタルクーポン給付

物価高騰の長期化による負担を軽減するため、高校生世代を対象に、キャッシュレスポイント等に交換できるデジタルクーポンが、1人当たり1万5千円分給付されます。

主な質疑

問 対象者の要件は。

答 平成19年4月2

日から平成22年4月1日までに生まれた人が対象で、高校生だけでなく働いている人にも給付する。

問 給付時期及び給付方法は。

答 現在、7年12月1日から8年1月末までの交換期間を想定している。

基準日時点で町内に住民登録がある対象者に、町と契約した業者から事前に案内文を送付する。案内文に記載されたQRコードをス

空調設備設置が待たれる稲美北中学校体育館



＝ 全会一致 可決 ＝

マートフォンなどで読み取り、キャッシュレスポイントを受け取っていた。キャッシュレスポイントへの交換を希望されない人には、申し出によりカタログギフト冊子の送付を予定している。

問 なぜ、対象を高校生世代にしたのか。

答 学業等により、時間の制限が多い高校生世代を支援したい。

問 国からの交付金等を活用するのか。

答 7年度分の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付が決定されれば、活用したい。

人事案件

○固定資産評価審査委員の選任に同意

山 やまたに **谷** まなぶ 学氏の選任に同意しました。

住所 稲美町岡
任期は、10年9月30日までの3年間です。

＝ 全会一致 同意 ＝

○教育委員の任命に同意

後 ごとう **藤** てい **哲** てつ **夫** お 氏の任命に同意しました。

住所 稲美町中村
任期は、11年9月30日までの4年間です。

＝ 全会一致 同意 ＝

議会を傍聴してみませんか

受け付けは、開催の1時間前から開始します。
受付場所は役場3階の議場前で、傍聴席は27席設けています。(先着順)
また、車椅子でも傍聴できます。要約筆記、手話通訳が必要な人は、1週間前までにお問い合わせください。

【問合先】 議会事務局 ☎079-492-9147(直通)

次回の定例会の日程(予定)

と き	予定されている主な内容
12月 2日(火)9:30～	議案の提案理由の説明
12月12日(金)9:30～	一般質問
12月15日(月)9:30～	一般質問
12月17日(水)9:30～	議案に対する質疑・討論・表決

※1階ロビーのATM前に設置したモニターでも議会の様子を生中継でご覧いただけます。また、一般質問の録画放送を本会議終了後に行います。

令和7年度一般会計補正予算(第2号)

補正増額 5億6,399万円 総額 137億8,153万円

若者応援クーポン給付事業費及び
小中学校施設維持管理事業費などを増額

〈第1号〉歳出の主な内容

- 若者応援クーポン給付事業
2,250万円新設
物価高騰の長期化による負担を軽減するため、高校生世代を対象にデジタルクーポンを給付するための委託料です。
- 減債基金積立事業
4億6,653万円増額
6年度の決算剰余金の2分の1以上を積み立てなければならないという地方財政法の規定に基づき、減債基金に積み立てています。

- 小学校施設維持管理事業
1,273万円増額
小学校5校の体育館に空調設備を設置するための設計委託料の新設です。
- 中学校施設維持管理事業
908万円増額
中学校2校の体育館に空調設備を設置するための設計委託料の新設です。

＝ 全会一致 可決 ＝

決算特別委員会

決算特別委員会

6年度決算

一般会計歳出総額126億2333万円を認定

実質収支9億3306万円の黒字決算

決算特別委員会は、9月16日、17日、19日、22日の4日間開催され、慎重に審査した結果、各会計とも原案どおり認定しました。
決算特別委員会の中で出された一般会計の主な質疑は、次のとおりです。

令和6年度 各会計決算

(1万円未満切り捨て)

区 分	歳 入	歳 出
一 般 会 計	137億 392万円	126億 2,333万円
特 別 会 計	国民健康保険	34億 4,743万円
	後期高齢者医療	6億 2,998万円
	介護保険	25億 8,068万円
	介護サービス	3,017万円
水 道 事業会計	収益的収入及び支出	6億 8,252万円
	資本的収入及び支出	4億 3,444万円
下 水 道 事業会計	収益的収入及び支出	11億 4,622万円
	資本的収入及び支出	7億 3,949万円
		12億 5,697万円

※水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金で補てんしました。

※下水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分損益勘定留保資金、当年度分利益剰余金で補てんしました。

基金の年度別現在高

(1万円未満切り捨て)

種 類	令和5年度末	令和6年度末
財政調整基金	52億 9,593万円	52億 8,349万円
その他の基金	21億 6,772万円	21億 2,282万円
合 計	74億 6,365万円	74億 631万円

※1万円未満を切り捨てており、合計が一致しない場合があります。

町債及び企業債の年度別現在高

(1万円未満切り捨て)

種 類	令和5年度末	令和6年度末
町 債	98億 1,080万円	91億 323万円
企業債	119億 8,556万円	118億 7,124万円
合 計	217億 9,637万円	209億 7,448万円

※1万円未満を切り捨てており、合計が一致しない場合があります。

主な質疑

歳 出

〔総務費〕

デマンド型乗合タクシー運行事業

利用促進及び利便性の向上を図るため、6年度から利用料金の支払いにキャッシュレス決済を導入し、1日の運行便数を6便から7便に増便しました。

問 登録者は888人で、そのうち0歳から9歳が22人、10歳代が8人、20歳代が10人、30歳代が14人、40歳代が27人、50歳代が41人、60歳代が89人、70歳代が355人、80歳代が318人、90歳代以上が4人となっている。

問 1日当たりの利用者数は。

答 25・7人で、地域公共交通計画の13年度が目標値15人を大きく上回った。

問 利用者及び利便性の更なる拡大に向けた今後の取り組みは。

答 運行業者との協議やアンケートの実施などを検討していきたい。

ふるさと納税推進事業

返礼品の充実や返礼品を提供する協力企業の拡大により、地域産業の振興及び自主財源確保を目指しています。

問 6年度の寄附件数及び寄附金額は。

答 寄附件数は7千231件、寄附金額は2億6127万8千円となっている。

問 6年度の協力企業の増減は。

答 1社増えたが、取り下げが1社あり、増減はなかった。

問 協力企業の拡大に向けた取り組みは。

答 毎年、商工会に協力量事業者募集の声をかけをしている。また、町と仲介事業者が連携し、地場産品基準を満たす商品を取り扱う事業者を訪問するなどして、協力を働きかけている。

〔民生費〕

高齢者優待利用券交付事業

65歳以上の高齢者に、タクシー券及びバス券を助成しています。6年度からタクシー券1枚当たりの額を60円から500円に、1カ月当たりの交付枚数を4枚（2千640円）から6枚（3千円）に変更しています。

問 5年度から6年度の交付者数及び利用額の推移は。

答 6年度の交付者数は2千831人で、5年度より298人増加した。

6年度の利用額は2千730万8千円で、5年度より約306万円増加した。

問 バス券のICカード化の検討は。

答 県が設置する協議会で事業者と自治体が連携して協議を進めることになり、当町もそこで検討していきたい。

こども計画策定事業

5年度から実施しているアンケート調査の結果や子ども・子育て会議の委員の意見を踏まえ、6年度に、稲美町こども計画（7年度から11年度まで）を策定しました。

問 子どもたちを対象に実施したワークシoppの内容は。

答 高校生には、どのようなまちになったらいいかという夢を語ってもらった。小中学生には、地域住民も交えた場で、町に対する要望や希望を発言してもらった。

子どもたちが望む未来を実現できるように、これらの声を計画の基本理念に盛り込んだ。

〔衛生費〕

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業

ゼロカーボンシティの実現を目指し、温室効果ガス排出量等の目標値や温室効果ガス削減に向けた施策などを明記した計画を6年度に策定しました。

問 カーボンニュートラルの実行推進体制は整ったのか。

答 住民・学識経験者などで構成する推進協議会で計画の進み具合などを評価し、庁内組織で構成する推進本部で施策や事業を検討していく。

現在、両者の7年度中の設置に向け準備を進めている。

〔農林水産業費〕

農業に頼らない稲作技術実証事業

5年度から3集落の営農組合に委託し、万葉の香（コシヒカリ）



田んぼを走り回るアイガモロボット(6年度当時は55万円)

生育を抑制させることができる。

問 町内全域で使用できそうか。

答 ある程度の抑草効果があつたので、営農組合や個人農家が購入すれば、効果を実感していただけると考える。

地域計画策定推進事業（人・農地プラン）

農業経営基盤強化促進法の改正により、全集落において、6年度末までに地域農業の将来図を示す「地域計画」の策定が義務づけられました。

各集落で協議が重ねられ、4地区55集落分の計画が完成しました。

問 これから各集落でなすべきことは。

答 各集落での協議のなかで、集落の課題や担い手の存在などを把握されたと思うので、今後地域計画をどのように磨き上げていくかの協議を続けていく。

〔土木費〕

町道維持補修事業

舗装の亀裂、ひび割れなど、車両交通に支障をきたしている町道は、計画的に舗装打換工事を行っています。

問 平成25年のひび割れ調査で、ひび割れ率が40%以上と判定され、優先的な補修工事計画の対象となった路線の工事の進捗率は。

答 6年度末で76%となっている。

問 それ以外で、傷みの激しい道路や住民からの要望があった道路の補修は。

答 道路パトロールで発見した道路も含め、整備計画にあげて優先順位を検討し、順次進めていく。

土地利用計画策定事業
(市街化調整区域)

土地利用計画の見直しにより、市街化調整区域に田園集落まじりの指定を行い、地縁者等の定住による人

口流出の抑制や空き家・空き地などの有効活用を図ります。

事業期間は6年度から8年度までの3年間です。

問 6年度の実施状況は。

答 土地利用の現況把握・分析、関係する49自治会への説明・ヒアリング、自治会・商工事業者へのアンケート調査を実施した。また、それらの結果を、策定委員会で報告した。

〔教育費〕

アーバンスポーツ施設
調査設計事業

スケートボードをはじめとしたアーバンスポーツ施設の7年度の設置工事に向け、6年度は設置場所を稲美中央公園ゲートボール場に決定し、実施設計を行いました。

問 インラインスケートやBMX（バイシクルモトクロス）も利用できるのか。



アーバンスポーツ施設完成予想図

答 原則として、スケートボード及びローラーの付いたインラインスケート等の利用を想定している。BMXは車両が大きいことから、他の種目と交錯すると危険性が高まるため、利用を想定していない。

問 運営マニュアルの作成は。

答 使用料の検討も含め、7年度の設置工事と並行して作成を進める。

中学校部活動地域移行
事業

生徒が主体的に選択し、多様な活動に参画できる機会を確保し、地域の方々とともに活動できるスポーツ・文化活動の環境整備を図っています。

6年度は、中学校部活動地域連携・地域移行

行推進協議会での方向性や5年度で得た課題を踏まえ、地域指導者による指導を試行しました。

問 6年度に地域指導者による活動を試行した部活動は。

答 運動部は陸上競技部、サッカー部、バスケットボール部、卓球

部、文化部は吹奏楽部で試行した。

問 今後の進め方は。

答 生徒・教職員、各種団体、住民に説明会を開催し、課題を一つずつ整理しながら、10年8月からの完全実施を目指す。

監査委員の意見（抜粋）

歳入面では、今後も安定した財源である町税の徴収を堅持しながら、国及び県からの補助金や交付金等を活用されたい。

基金は、将来の経済状況の変化や様々な財政需要に対応し、安定的な財政運営を行うための重要な資金である。資金確保のための安全性を最優先し、より効率的・効果的な運用方法を更に検討されることを望むものである。

歳出面では、7年度以降もアーバンスポーツ施設整備事業、いなみ野体育センター空調設備設置事業、学校施設の大規模改修事業、公共施設の老朽化対策などの大型事業を控えている。

今後の財政運営にあたっては、社会情勢の変化や多様化する住民ニーズに柔軟に対応した事業の選択を行い、行政サービス等の受益に応じた様々な財源確保に努め、中長期的な展望に立った効率的、効果的な行財政運営ができるよう財政基盤の確立を図られたい。

監査委員 小西 昇
〃 小山 裕美



国のGIGAスクール構想に基づき、2年度から町内の小中学校の児童生徒に1人1台ずつ貸与しているタブレット端末を、県からの補助金を活用し更新します。

今回の購入台数は、教員用を含め2千700台です。

〓全会一致 可決〓

GIGAスクール対応情報端末



アーバンスポーツ施設整備予定地

稲美中央公園内ゲートボール場に、スケートボードパークと3X3コート、テニス壁打ち・ボール遊びができる設備の整備を行います。

スケートボードパークには、21種類のセクション（スケーター用の坂道や手すりなど）を設置します。

〓全会一致 可決〓

稲美町アーバンスポーツ施設整備工事

請負契約を可決

入札方法 郵便応募型条件付き
一般競争入札

契約の相手方 阪神ケーブルエンジニアリング(株)

契約額 1億8,821万円

納期 8.3.31

入札方法 郵便応募型条件付き
一般競争入札

契約の相手方 (株)スポーツテクノ和広
神戸営業所

契約額 1億1,385万円

工期 7.9.26～8.3.31

購入契約を可決



空調設備設置工事が進む「いなみ野体育センター」

いなみ野体育センターにおいて、利用者が夏場に快適に活動できるように、また、災害時に避難所として使用する際の過ごしやすい環境が提供できるよう、空調設備設置工事を行います。

体育館には、無風で競技に影響を与えない壁放射式（壁面に設置）の空調を設置します。

臨時会

第189回臨時会は、7月17日に開催されました。いなみ野体育センター空調設備設置工事請負契約の1議案を可決しました。

いなみ野体育センター空調設備設置工事

請負契約を可決

また、体育館外部に、空調室外機、自家発電設備、都市ガス配管などを新設します。

併せて、老朽化している管理事務所内の空調設備の取替工事も行います。

主な質疑

問 輻射パネルの大きさと枚数は。

答 パネルの1枚当たりの大きさは、幅1.06メートル、高さ3.08メートル、体

置する輻射パネルに冷温水を循環させる方式）の空調を設置します。

体育館内部に、電気配線、輻射パネル及び空調配管などの設備を新設します。

入札方法 郵便応募型条件付き
一般競争入札

契約の相手方 テラマエ設備工業(株)

契約額 1億6,060万円

工期 7.7.18～8.3.31

育館の東面と西面に30枚ずつ、計60枚を設置する。

問 ガス配管は、どこに通すのか。

答 パネルを設置する壁面の下の床に穴を開け、床下に配管する。

〓全会一致 可決〓

討論

後期高齢者医療
特別会計補正予算
(第1号)

〔反対〕 大路 恒

後期高齢者医療制度は、75歳で年齢を区切り、国民間の対立と分断を図るものである。よって反対する。

〔賛成〕 藤田 義光

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現に寄与すると思う。よって、この補正予算に賛成する。

〔賛成〕 山田 立美

後期高齢者医療特別会計補正は、後期高齢者医療広域連合への6年度納付金額確定によるもので賛成する。

〓 賛成多数 可決〓
(賛成12 反対1)

決算認定

後期高齢者医療
特別会計

〔反対〕 大路 恒

後期高齢者医療制度は、75歳で年齢を区切り、国民間の対立と分断を図るものである。よって反対する。

〔賛成〕 関瀬 真澄

国民皆で支え合う医療保険制度である。本決算は歳入歳出差し引き黒字決算で、健全な制度運営のため賛成だ。

〔賛成〕 山田 立美

75歳以上の高齢者が加入する独立した後期高齢者医療制度に基づく6年度決算なので賛成する。

〓 賛成多数 認定〓
(賛成11 反対1)

議案などの審議結果【7月臨時会・9月定例会】

賛否の分かれた議案

議案名	賛成	反対	議決結果	議決日	松村 芳樹	小笠 竜広	藤田 義光	小山 裕美	大山 和明	樋口 瑞佳	山田 立美	河田 公利	山口 守	大路 恒	池田 博美	長谷川 和重	関瀬 真澄	木村 圭二
6年度決算 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	11	1	認定	9/25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	○	遅
7年度予算 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	12	1	可決	9/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	○	○

〔表示例〕○…………賛成 ×…………反対 遅…………遅刻

議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決めます。

全員が賛成した議案

議案名	議決日
条例 ▶職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 ▶職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ▶水道事業給水条例の一部改正 ▶下水道条例の一部改正 ▶農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部改正	9/12
6年度決算 ▶一般会計歳入歳出決算認定 ▶国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 ▶介護保険特別会計歳入歳出決算認定 ▶介護サービス特別会計歳入歳出決算認定 ▶水道事業会計剰余金処分及び決算認定 ▶下水道事業会計剰余金処分及び決算認定	9/25
7年度予算 ▶一般会計補正予算（第2号） ▶国民健康保険特別会計補正予算（第1号） ▶介護保険特別会計補正予算（第2号） ▶介護サービス特別会計補正予算（第1号） ▶水道事業会計補正予算（第1号） ▶下水道事業会計補正予算（第1号）	9/12
契約 ▶いなみ野体育センター空調設備設置工事請負契約の締結	7/17
▶稲美町アーバンスポーツ施設整備工事請負契約の締結 ▶GIGAスクール対応情報端末購入契約の締結	9/25
人事件 ▶固定資産評価審査委員会委員の選任 ▶教育委員会委員の任命	8/28

議会映像をインターネットで配信しています

議会開催時の生中継と録画放送が、インターネットを利用してパソコンやスマートフォンなどで視聴できます。詳しくは、町ホームページの「稲美町議会」「議会映像インターネット配信」をご覧ください。



正副議長・委員会構成 決まる

暮らしに寄り添う議会を

議長 河田公利助



この度、議長に就任いたしました。今後ますます多様化・複雑化する社会に対応するため、住民の皆さまが主役となる議会をめざし、地域に寄り添った運営を進めてまいります。物価高騰や激甚化する自然災害への対応など、日々の暮らしに影響する課題にも丁寧に取り組み、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向け、議会としての責任を果たしてまいります。

皆様の声を大切に

安心して暮らせる町へ

副議長 小山 裕美



この度、副議長に就任し、身に余る光栄と重責を痛感しております。微力ながら河田議長を補佐し、公正で円滑な議会運営に努めます。そして、先行き不安の広がる時代にあっても、町民の皆様の声に寄り添い、安心と温もりのある町づくりをめざしてまいります。

議会広報常任委員会



小笠	松村	大路
竜広	芳樹	恒
山口	木村	藤田
守	圭二	義光

副委員長 藤田 義光
委員長 木村 圭二

「議会だより」の編集・発行をする。

生活産業建設常任委員会



大山	池田	長谷川	大路
和明	博美	和重	恒
小山	小笠	委員長	藤田
裕美	竜広		義光

副委員長 藤田 義光
委員長 小笠 竜広

環境衛生、危機管理、産業振興、地域整備、上下水道などを調査・審査する。

総務福祉文教常任委員会



木村	山口	樋口	山田
圭二	守	瑞佳	立美
河田公利助		松村	関灘
		芳樹	真澄

副委員長 関灘 真澄
委員長 松村 芳樹

企画、財政、税務、福祉、教育などを調査・審査する。

議会デジタル化推進特別委員会



小笠	池田	山田
竜広	博美	立美
木村	山口	松村
圭二	守	芳樹

副委員長 松村 芳樹
委員長 山口 守

議会のデジタル化に関することなどを調査・研究する。

議会運営委員会



大山	藤田	木村	樋口
和明	義光	圭二	瑞佳
関灘		長谷川	池田
真澄		和重	博美

副委員長 池田 博美
委員長 長谷川 和重

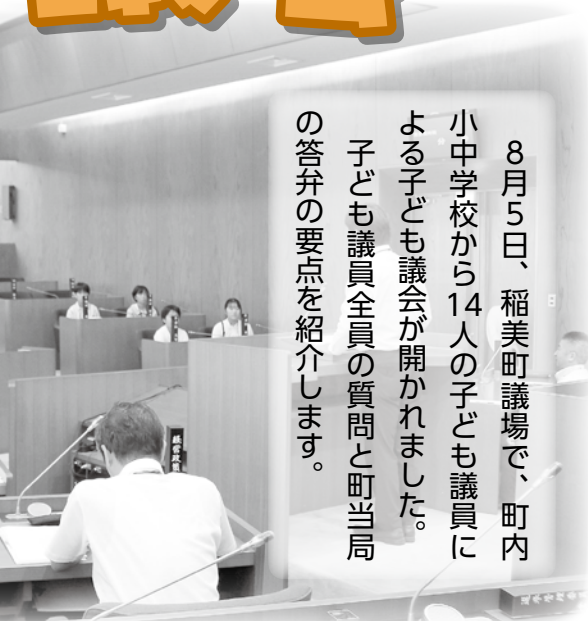
議会運営に関することなどを調査・審査する。

議会選出 監査委員

樋口 瑞佳

財務、経営などを監査する。

議会



8月5日、稲美町議場で、町内小中学校から14人の子ども議員による子ども議会が開かれました。子ども議員全員の質問と町当局の答弁の要点を紹介します。



天満小
うめた こう
梅田 眺 議員

質問

稲美町の全小中学校にエレベーターを設置してほしいです。

答え

身体に障がいのある児童生徒が学んでいる学校、入学予定のある学校に優先的に設置を進めています。今後、古くなった校舎を整備する際に重要な意見となります。

天満南小

いわもと ちから
岩本 親良 議員

質問

町内の米の自給率を上げることが「令和の米騒動」への対策になります。生産者さんへの支援・協力はどのように行っていますか。

個人農家で農業が難しいときは集落営農で農地を守っています。町では、トラクターやコンバインなどの農業用機械を買うときのサポートをJA兵庫南や兵庫県と協力しながら行っています。



やまぐち みずき
加古小 山口 瑞希 議員

質問

みんなの負担やトラブルを少なくするために、地区別登校から自由登校にしてほしいです。

答え

地区別登校には皆さんの安全を守るという目的があります。皆さんの声に耳を傾け、登下校のあり方を一緒に考えていけたらと思います。

よしだ ゆうか
加古小 吉田 侑加 議員

質問

もっとイベントや祭りを増やしてにぎやかな町にしてほしいです。

答え

町制施行70周年では様々なイベントがあります。積極的にPRをして「いいね！」があふれる稲美町を目指したいと思います。



あかまつ だいち
母里小 赤松 大智 議員

質問

誰もが暮らしやすい稲美町にするために、交通量の多い交差点に歩道橋や音響信号機の設置をお願いします。

答え

歩道橋や音響信号機を設置するには、多くの条件や基準があます。稲美町にはそれらを満たす場所がないため、設置は難しいです。

あかまつ ゆうな
母里小 赤松 裕奈 議員

質問

小学生から高齢者までが遊べるような遊具のある公園を母里小校区につくってほしいです。

答え

校区内の公園の遊具を順番に入れ替えています。新しく楽しい安全な遊具にしながら、人が集まれる場所にしていきたいと考えています。



たかた ゆい
天満小 高田 結衣 議員

質問

下校の時に校庭で全員がそろうまで長い時間待つこともあるので、個人下校へと変えたいです。

答え

集団下校は、友達同士が声を掛け合って歩くことで何かあったときにお互いに助け合うことができます。どうすれば皆が安全で楽しく登下校できるのか、私たちも一緒に考えていきます。

子ども



稲美北中 ふくもと まゆ 福本 真悠 議員



質問 稲美町に中学生がゆっくりできる公園や、みんなで出かけられる大型ショッピングモールがほしいです。

答え 公園について、予約しなくても自由に使える場所を広げていけたらと考えています。また、現在、町役場の西側にある工場跡地に大型商業施設建設の計画が進んでおり、約2年後の開業を目指しています。

稲美北中 いちなか かんた 市中 敢大 議員



質問 事故を防ぎ、危ない思いをする人を減らすために、道路の整備をお願いします。

答え 特に傷んでいる19路線の合計約13キロを対象とした修繕計画をつくって、平成25年から順番に工事を進めており、計画外の路線も必要性に応じて修繕対応をしています。道路整備を通して、「もっともっと安全な稲美」の実現に向けて取り組んでまいります。

稲美中 てらじま うた 寺嶋 詩 議員



質問 稲美町の魅力をいろいろな世代に効果的に知ってもらえるような活動をしてもらいたいです。

答え 稲美町ホームページや公式SNSや、新聞やテレビも活用し、多くの人に知ってもらえるよう努力していきたいです。

稲美中 いけだ かいり 池田 佳理 議員



質問 稲美ブランドを前面に出して、広報・発信していき、稲美町を代表するアピールポイントにできないでしょうか。

答え 現在、大阪・関西万博で開催されている「ひょうご楽市楽座」でコスモシンフォニックウインズの皆さんによる「吹奏楽」、稲美ブランドの農産物・加工品の販売で稲美町の魅力を発信しています。

天満東小 よしだ りひと 吉田 琉人 議員



質問 恥ずかしい思いをしなくてよいように、学校の男子トイレも女子と同じ個室にしたいです。

答え 町内には「バリアフリートイレ」が多くの施設で設置されていますが、「ジェンダーレストイレ」はありません。誰もが個室のトイレを気軽に使えるようお互いを思いやれる関係づくりも必要だと思います。

天満東小

いわばやし そうすけ 岩林 奏佑 議員



質問

体育館で運動中に友達が熱中症で倒れたことがあります。災害時の避難所にもなるので、体育館にエアコンをつけてほしいです。

答え

猛暑の中、教育活動や避難所として使用できる体育館にしたいので、エアコンをなるべく早く設置できるように頑張っていきます。

天満南小

さかもと いとは 坂元 糸羽 議員



質問

南小学校前信号西側の歩道が狭く、事故につながります。車道と歩道を区切るガードレールの設置ができませんか。

答え

南小学校前信号機は4年1月に設置しました。西側道路は狭くなっていますが、道路を広げる必要があります。町から県に道路計画と工事をお願いしているところです。

まちづくりをどうする

ここが聞きたい!!



※登壇順（質問順）に掲載しています。

質問者	掲載ページ	質 問 事 項
藤田 義光	13	①稲美町の防災倉庫について ②町民の善意で「子ども110番の家」を増やせないか ③天満大池公園池側の石について
河田 公利助	13	①特殊詐欺対策強化を ②公共施設の利便性と安全性は ③町産品のアピールとふるさと納税の活用は
木村 圭二	14	①財政調整基金を活用して物価高騰対策を ②見守りカメラの拡充を ③改めて企業立地促進条例の見直しを ④待機児童解消に向けて ⑤稲美中央公園全体構想策定を問う ⑥町立幼稚園の今後のあり方を問う
山田 立美	14	①特定外来生物アライグマの駆除対策を問う ②兵庫県立東播磨高校経由でかこバスミニの運行延長を ③耕作放棄地の適正管理について
松村 芳樹	15	①加古大池の関係人口を増やす取り組みを ②オーガニックビレッジ宣言に向けた計画と関係事業者との連携について ③町内のこどもの居場所の実情は
山口 守	15	①こども誰でも通園制度の事業実施体制は ②50歳以上の带状疱疹ワクチン接種助成を継続せよ ③3カ月前から施設予約を可能に ④劣化した交差点標示等の修繕は
池田 博美	16	①長期休暇中の児童生徒の生活と心のケアは ②来年のコメ作付状況は
関瀬 真澄	16	①「1か月児」及び「5歳児」の健診の対応についてを問う ②農業振興地域整備計画における除外申請の円滑化について ③旧コスモス児童館の今後の利活用を問う ④県単独事業や町と連携協定を締結した事業等の展開を問う
大山 和明	17	①民生委員・児童委員のなり手不足を考える ②高齢者の独り暮らしに孤独死対策を ③加古大池利活用施設の環境整備と水生植物園について
小山 裕美	17	①子どもの生活リズムと心の健康を守るために ②家庭内暴力(DV)の支援体制の充実を ③安全と利活用の観点から見た空き家問題
樋口 瑞佳	18	①子どもや若者のための屋内施設開放・自習室の増設を ②図書館の閲覧室、AVコーナーの設置数見直しを ③小中学校の熱中症対策について(冷凍庫や自動販売機の設置を) ④福祉避難所について
小笠 竜広	18	①稲美北中学校指定避難所について ②加古大池の利活用について
大路 恒	19	①中学校の部活動から「いなチャレ」への移行にあたって ②空き家の雑草対策は

🎤のある質問事項を掲載しています。

稲美町の防災倉庫は

経済環境部長

防災倉庫の整備は必要と思われる



藤田 義光

南海トラフ地震が発災したとき、現在の防災倉庫で稲美町の人口に対応できるのか。

経済環境部長 防災倉庫整備の必要性は認識している。平常時の管理や発災時のアクセス、備蓄品の確保を考慮し、場所の選定や建物規模

を検討し計画する。

町民の善意で「子ども110番の家」の増設を

いつ何が起こるか分からない昨今、町民に呼びかけを行い「子ども110番の家」を増やしてはどうか。



稲美町防災倉庫

教育政策部長 「子ども110番の家」は各小学校区の実情にに応じて管理されており、登録件数も充足している。今後の動向を注視する。

天満大池公園池側の石の扱いは

天満大池公園池側の水際に置かれた石の間に雑草が生えている。草刈機が使えず、景観を損ねている。

地域整備部長 維持管理に関して、管理をしているシルバー人材センターと協議する。

特殊詐欺対策強化を

経済環境部長 関係機関と連携し対策に努める



かわた 公利 助



「ATMで振り込んで」と言われたら詐欺です！

(注) フェーズフリー

身のまわりにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、非常時にも役立つようにデザインしようという考え方

特殊詐欺による被害が多様化し、町内でも高齢者のみならず若年層にも広がり対処できない。警察や県、近隣自治体との連携強化を。

経済環境部長 加古川警察署と1市2町で構成する連絡会や県管轄の防犯グループ、防犯協会などに警察から情報提供がある。関係機関は、これを元に犯罪抑止、被害防止対策を連携して実施している。

町内のコンビニでも特殊詐欺を防いだ例がある。店舗や金融機関との連携は。

経済環境部長 加古川警察署を中心に、近隣市町、関係機関と連携を図りながら防犯対策に努める。

フェーズフリー概念は

稲美中央公園の全体構想案が示されたが、平時・災害時を問わず活用可能なフェーズフリーの概念は取り入れられているか。

地域整備部長 今回の全体構想は、避難場所としての機能も向上させるもので、フェーズフリーの概念に通じると考えている。



きむら けいじ
木村 圭二

待機児童の解消を

健康福祉部長 今後とも取り組みたい

健康福祉部長 これまでから、民間保育所の改築、認定こども園化などに取り組んできた。また本年4月、小規模保育事業所の開設、町内2保育所の認定こども園化などを行った。今後も各園で多くの園児を受け入れてもらえるよう、弾力的な運用を求めている。



4月に開所された小規模保育所「バンビグレース保育園」

企業誘致の促進を

当町は工業団地もなく企業誘致は困難な状況にあるが、秋に東播磨道が開通する。計画中の播磨臨海地域道路では、町内にインターチェンジができる。こうした条件を生かして「企業立地促進条例」を見直すべきだ。

経済環境部長 市街化調整区域でも、1億円以上の投資で3年間固定資産税相当額を補助している。近隣市町より優位と考える。

アライグマの駆除対策を問う

経済環境部長 年間の捕獲頭数も増加している



やまだ たみ
山田 立美

アライグマによる農作物被害と捕獲状況は。経済環境部長 農産部長に対するアンケート調査では、6年度被害面積は230アール、54頭が捕獲されている。町が貸し出ししている捕獲わなの総数は。経済環境部長 現在、

機能しているのは10基で、壊れたわなは処分している。

「かこバスミニ」の平岡北ルートを延長して、JR東加古川駅から東播磨高校を経由する町内ルートを、加古川市との広域連携により整備してはどうか。

経営政策部長 「かこバスミニ」の運行便数への影響や運行ダイヤの見直しなどを伴うため、実現は難しい。

耕作放棄地の筆数と面積、所有者への対応は。

経済環境部長 7年4月1日現在、遊休農地は28筆、2・4ヘクタール。所有者に対しては、耕作管理を求める行政指導と利用意向調査を行い、状況が変わらないケースは、農地中間管理機構へ情報提供を行っている。



わなに掛かったアライグマ

有機農業実施計画策定の進め方は

経済環境部長

協議会で計画内容を協議する



まつむら
村芳樹

オーガニックビレッジ宣言に向けた有機農業実施計画策定の進め方は。また、農薬低減に向けた取り組みは。

経済環境部長 協議会

を設立し計画内容を協議する。農薬低減に関しては、減農薬や無農薬の実証試験中。JA



エサを探すコウノトリ（琴池地区）

（注）オーガニックビレッジ宣言

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者・事業者・地域内外の住民が地域ぐるみの取り組みを進める町であると宣言すること

兵庫南でも今年度から水稲育苗処理剤を非ネオニコ系農薬に変更願っている。

こどもの居場所の支援
充実に向けコーディネーターの配置を

健康福祉部長 居場所づくり実施団体からの

聞き取りや、社協と協力し、運営補助金交付等を行っている。配置は研究課題とする。

加古大池利活用を問う

県事業を活用した利活用が必要では。

経済環境部長 今後も目的に応じて活用する。

まちづくりへの見解は。

経営政策部長 町がりーダーシップを発揮し、地域の合意を得ながら共に進めていくことが大切。今は機運の醸成を図っている。

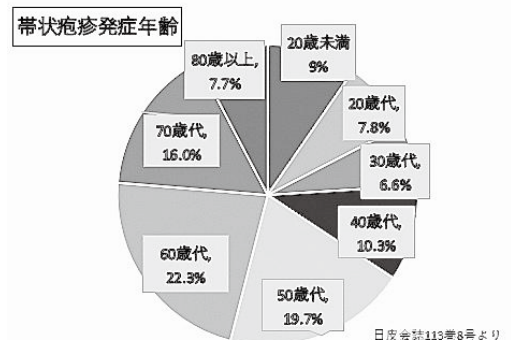
带状疱疹ワクチン助成を継続せよ

健康福祉部長

近隣市町・医師会と検討している



やまぐち
山口 守



本年4月から実施の带状疱疹ワクチン定期接種は、65歳以上5歳きざみの人が対象となっている。しかし、带状疱疹は50歳代から発症率が上がる。50歳以上が対象の当町独自の任意接種助成は7年度限りだが、8年度以降も継続すべきでは。

健康福祉部長 実施の有無、対象年齢等を含め、近隣市町や医師会と情報共有を図り、検討している。

劣化した交差点標示の更新は

交差点標示が劣化して見えにくい箇所があり、事故の危険性もある。更新計画は。

地域整備部長 管理者である県加古川土木事務所との連絡調整会議で、計画的な更新・修繕を要望している。

スポーツ施設を3カ月前から予約できないか

生涯学習担当部長 町、

学校、体育協会などの行事が実施できないケースが想定されるため、スポーツ施設の通常予約を3カ月前からにする予定はない。

新品種コ・ノ・ホ・シの作付けは

経済環境部長

県計画では10年に全面転換予定



池田 博美

兵庫県とＪＡグループ兵庫が共同開発した水稻品種「コ・ノ・ホ・シ」が来年から町内で全面的に作付けされる。「コ・ノ・ホ・シ」はキヌヒカリに代わる新品種で、夏の暑さや病気に強く、味が良く、一等米の割合は76%

（キヌヒカリは56%）という特徴を持ち、農業者にとつて期待の新品種である。新品種の作付け講習会を開く必要があるのでは。

経済環境部長 県の計画では、10年にキヌヒカリは「コ・ノ・ホ・シ」に全面転換される。

要があるのでは。

講習会は今年中に開催する予定と聞いている。
長期休暇中の児童生徒の生活と心のケアは

教育政策部長 長期休業前に児童生徒に対し、困った際は迷わず学校へ連絡するように指導している。また、保護者には家庭での見守りなどをお願いしている。

問題行動の連絡があれば、担任や管理職が速やかに状況を把握し、養護教諭などと連携し、支援する。

農振除外申請の円滑化を求める

経済環境部長 県との協議等に時間を要し困難だ



なだ 真澄

農業振興地域の土地の開発や転用には、農振除外と農地転用の「二重規制」がある。手続き円滑化のため、年間に町が実施する農振除外申請の事前相談回数を増やすべきでは。

経済環境部長 農振除外を行うには、計画の見直しや県との協議等の様々な手続きが必要で、処理完了まで1年程度かかる。現在のところ相談回数増加の予定はない。

国は5歳児健診支援を強化 当町でも導入を

健康福祉部長 現在、



有効な利活用を求める公共施設

5歳児発達相談事業を実施し、発達や行動面に支援が必要と思われる児童とその保護者を支援している。導入は今後の検討課題とする。

旧コスモス児童館の有効な活用計画は

健康福祉部長 具体的な計画はないが、子育て支援、教育支援施設として検討している。

県単独事業を積極的に活用すべきと考えるが 経営政策部長 今後も必要に応じて活用する。



あき やま おお 大 山
明 和 大

民生委員のなり手不足が深刻だ

健康福祉部長 活動支援や負担軽減に努める

民生委員・児童委員は高齢者や障がい者の支援、児童の健全育成など重要な職務を担うが、近年は業務負担が増加し、なり手不足が深刻化している。

健康福祉部長 活動の支援とともに、負担軽減について委員と意見交換を行っていく。

独り暮らし高齢者の孤独死対策を

健康福祉部長 あんしんボタンの見守りセンサーや「食」の自立支援事業での食事を届ける際の安否確認、地域

見守り活動事業など未然防止に努めている。

加古大池の環境整備を

多数を集客するイベント開催には安全面など課題がある。解消に向けた環境整備を。

経済環境部長 主催者には安全面等に対応可能な人数でのイベントをしていただいており、整備予定はない。

加古大池水生植物園の整備計画は

経済環境部長 仕様書に基づき維持管理されており整備計画はない。



7年4月に発行された民児協だより

当町のDV被害者への支援は

健康福祉部長 適切に対応機関へつないでいる



こやま 小 山
ゆう 裕 美

内閣府の調査で女性の約33%、男性の約20%がDVを受けた経験があるとされる。緊急時に被害者の安全を守る一時保護や避難支援体制は整っているか。

健康福祉部長 相談者の状況や意向を確認し、緊急性が高い場合は対応

応機関へつないでいる。DVを目撃した子どもへの心のケアなどは。

健康福祉部長 虐待事案として、関係機関と連携し対応している。

当町の空き家の状況は

6件。そのうち周辺に影響がでている物件は29件あったが、7年3月の調査では3件が解消し、現在は26件。

当町の空き家対策の現状は。

地域整備部長 不動産相談窓口の紹介や新たな啓発冊子も作成中。また、空き家バンク制度や改修費用補助なども創設している。

家庭内DVが母親だけでなく子どもの心にも影響を及ぼす様子



家庭内DVが母親だけでなく子どもの心にも影響を及ぼす様子

(注) DV (Domestic Violence: 家庭内暴力)

配偶者や恋人など、親しい関係にあるパートナーからふられる暴力のこと。身体的暴力だけではなく、暴言や無視などの精神的暴力、生活費を渡さないといった経済的な暴力なども含まれる。

空き家の利活用についてどう考えているか。

地域整備部長 土地の規制緩和で利活用しやすい環境を整えたい。

発災直後から福祉避難所設置は

（経済環境部長） まずは指定避難所だと考えている



みずおか 佳佳
樋口 佳佳

高齢者や障がいのある人、妊婦等の避難所生活に配慮が必要な人のための二次避難所（福祉避難所）を発災直後から設置しては。

経済環境部長 理想だとは思いますが、まずは一次避難所での避難者受け入れを考えている。要支援者に配慮した避難所運営を行いたい。

子どもや若者の屋内施設開放・自習室増設を

旧コスモス児童館を利活用できないのか。

健康福祉部長 資源の有効活用の観点から、



協議が進む両中学校 自動販売機の設置（熱中症対策・災害時対策）

（注）福祉避難所

災害時に一次避難所での生活が困難な高齢者、障がい者、妊産婦や乳幼児など、特別な配慮を必要とする人が利用する避難所で、災害発生後に必要に応じて開設される二次的な避難所のこと

より充実した子育て支援、教育支援施設として検討している。

図書館の閲覧室・AVコーナー設置数見直しを

生涯学習担当部長 D V D集中管理システムの経年劣化に伴う不具合が発生しており、用途や設置数を含めて対応を検討している。

小中学校の熱中症対策で自動販売機の設置を

教育政策部長 両中学校と協議を進めている。

災害時

稲美北中武道場の開放は

（経済環境部長）

状況等に応じた開放が想定される



おがさ ただふみ
小笠 竜広

災害が起こった場合、指定避難所である稲美北中学校では、避難所として武道場も開放されるのか。

経済環境部長 指定避難所での避難者受け入れ場所は、避難者数の大小や後の施設機能再

開等を考慮し、施設管理者と協議のうえ決定される。学校施設の避難者受け入れの初期段階は、体育館を避難所として利用する。その後、体育館のみでの対応が困難な避難者がおられる場合、校舎の個

室を確保する手順になっている。このような場合、武道場の開放も想定される。

避難所には安全性と一定の居住環境が求められる。また、避難所での生活が長引く場合を想定し、環境整備が必要とされる。当町の避難所の整備状況は。

経済環境部長 避難していたくには整備が不十分な箇所がある。また、テント等の備品の拡充も必要だと考えている。



避難所にもなる武道場（稲美北中学校）



おお じ 路 恒
大 路 恒

部活動の地域移行 教委の体制は

【教育政策部長】専任職員の配置を検討する

10年8月に中学校の部活動が地域へ移行するにあたって、教育委員会の管理体制や運営の状況はどうなるのか。

教育政策部長 中学校の部活動から「いなチャレ」への地域展開は、教育課と生涯学習課、文化の森課がそれぞれ連携をとりながら、事業を推進している。今後、更に多くの課題整理を行い、準備していく必要がある。そのために、部活動の地域展開に専念できる職員の配置を検討する。



部活動（稲美北中）テニス部

空き家の雑草対策は

空き家管理ができていない所有者等に強力な指導を。

経済環境部長 近隣住

民から、雑草の繁茂や害虫の被害、火事などの懸念について要望や苦情が寄せられた場合、現地に向き状況を確認したうえで、当該空き家等の所有者または管理者を調査し、適正な管理を依頼する文書を送付するなどの対応をしている。

（注）いなチャレ

10年度から始まる稲美町中学校部活動地域展開後の地域クラブ活動「いなみチャレンジクラブ」の略称

要望書を国へ提出

稲美町が直面している課題に対し、早急な対応を求める2件の要望書を、稲美町議会から国へ提出しました。

ナガエツルノゲイトウ駆除・拡散防止に向けた支援を求める

効果的かつ効率的な防除方法を早期に確立し、現場への普及を促進すること

ヤード及び再生資源物保管事業に関する環境対策と制度改正を求める

特定外来生物のナガエツルノゲイトウが繁茂すると、水路では水の流れを阻害し、農地では作物を生育不良にし、ため池や河川等では水質を悪化させ、地域の暮らしと産業に重大な脅威を与えている。当町でも、ナガエツルノゲイトウの繁茂が確認されたため池では、県と農業者や関係者が協力して除草や駆除を進めているが、その拡散力には長期的な対策が不可欠である。

現在、全国的に増加するヤード（自動車等解体・輸出作業場）及び再生資源物保管事業所は、地域の生活環境に重大な懸念をもたらしている。

1 特定外来生物防除対策事業に対し、十分な予算を確保すること
2 ナガエツルノゲイトウの被害防止のため、

稲美町でも同様の事業所が住宅地や農地に隣接して複数存在し、油の流出、資材の飛散、騒音や振動が日常的に発生しており、町に多くの苦情・相談が寄せられている。

規制が不十分で、抜本的な解決には至っていない。

については、次の事項について早急に対応されるよう強く要望する。

1 ヤードおよび再生資源物保管事業に対して、生活環境保全・災害防止の観点から、安全・衛生・景観・保安に関する基準を法的に義務付ける制度を新たに創設するか、現行制度を抜本的に見直すこと

2 不適正な事業者に対して、立入調査権限、是正命令、業務停止、罰則適用などの実効性ある法的措置が講じられるよう、制度を整備すること

3 地方自治体が効果的に監視・指導できるよう、専門人材の配置支援、財政的支援措置（補助制度等）を講じること

中学校部活動の地域展開

「いなみチャレンジクラブ」の準備始まる!



稲美中学校・稲美北中学校吹奏楽部の合同練習

生徒や教職員数の減少により、部活動は縮小化している。子どもたちが主体的に参加し、多様な活動に参加できる機会を確保するため、中学校部活動の地域展

開「いなみチャレンジクラブ」を10年度から開始する。

地域展開は教職員の働き方改革につながるが、会費や保険料の発生に関する保護者の不安に対する対応は。

保護者や地域の皆さんに十分な周知を行い、不安を一つずつ解消していきたい。

地域展開に移行しても、参加資格を学校単位とする中体連の大会に参加できるのか。

中体連では、地域単位での参加も可能とする検討や改革を進めている。

進学時に、一部公立高校では特定の課外活動を重視する高校もあるため、その高校を志望する生徒については、高校に対して、その活動の内容を伝えていく。

進学時に、一部公立高校では特定の課外活動を重視する高校もあるため、その高校を志望する生徒については、高校に対して、その活動の内容を伝えていく。

稲美町立幼稚園の今後のあり方

幼児教育・保育の無償化、保育所のこども園への移行、保護者ニーズの変化により、幼稚園を取り巻く環境が大きく変化している。

今後も就学前教育についての検討を継続する。



天満幼稚園園舎

きたい。

町立幼稚園の再編に対し、幼稚園に通っている保護者の意見は。

ニーズ調査のアンケートでは、「幼児数に合わせて町立幼稚園を統廃合して減らす」という回答を選択した保護者が複数おられた。

その他報告事項

第9期介護保険事業計画、町の財政状況、ふるさと納税など。(8月6日・8日開催)

総務福祉文教 委員会報告

委員長 樋口 瑞佳
副委員長 小山 裕美
委員 松村 芳樹
小笠 竜広
山田 立美
河田 公利助
木村 圭二



平成 27 年度花火大会（加古大池）

生活産業建設 委員会報告

委員長 藤田 義光
副委員長 関灘 真澄
委員 大山 和明
〃 山口 守
〃 大路 恒
〃 池田 博美
〃 長谷川和重

町制施行70周年記念 花火大会開催

町制施行70周年を記念して、11月1日（予定）に花火大会が約6年ぶりに開催される。会場周辺の道路渋滞や来場者密集リスクを避けるため、加古大池、天満大池、サン・スポーツランドいなみ周辺の3カ所で分散して打ち上げる。自宅周辺での観覧となり、打ち上げ場所での観覧はできない。ケーブルテレビの生放送や動画の生配信が予定されている。

避難所開設運営訓練
災害直後を想定し、住民の避難と避難所開設などの訓練を母里小学校区で実施予定。

問 災害発生時は、避難所設営に詳しい職員等が他の対応に追われ、避難所開設に携われない場合が想定されるが。

答 そのような場合も想定して、自分たちで避難所開設ができるよう学んでいただきたい。

西部配水場更新工事の進み具合を現地調査

答 5年度から3カ年の予定で進めている。新配水場、第1配水池の建築は概ね完了し、現在、内外装や配管作業



現地調査をする委員（西部配水場）

などを行っている。

問 配水切り替え時の住民への影響は。

答 配水場の変更で水の流れが変わり、赤水が発生する可能性がある。配水の切り替え前には、町広報やSNSなどで周知を行う。

稲美中央公園全体構想策定事業の進捗状況

ニーズに応じた新たな施設の設置や既存施設の更新を検討し、全体構想の策定を行う。

問 整備予定のキャンプ場は有料になるのか。
答 今後の検討課題である。

（8月7日開催）

言とひと



なかやま
中山 さゆりさん
(国安)

稲美町に嫁いで26年、気付けば人生の半分以上をこの町で過ごしています。子どもたちと一緒に食べる親子給食で、初めて稲美町の給食を食べた

稲美町の魅力を届けたい

時「こんなにおいしい給食を食べてるのね!」と感動したことを今でも覚えています。自然が豊かでお米もおいしい稲美町には、まだまだたくさん魅力があります。これからもSNSなどを通して、この大好きな町の魅力を私なりに発信していきたいと思っています。



点訳サークル「すみれ」のみなさん

メンバーと活動日を教えてください

会員は、7人です。毎月第1・3土曜日の午後2時30分から4時まで、障害者ふれあいセンターに集まって活動しています。

どのような活動をしていますか

町広報、社協だより、町立図書館に配架する絵本や新聞のエッセイなどを点訳し、視覚障

がいのある人たちへの情報提供をしています。点訳は以前は手打ちでしたが今はパソコンで入力し、点字プリンターで点字を打ち出します。点訳の作業は、メンバーそれぞれの自宅で各自のペースで行い、活動日に確認と校正をして、完成させています。



点訳の確認・校正作業中

したり、点字の作成等を体験してもらう出前講座も開催しています。

グループとして望むことは何ですか

メンバーの増員を望みます。

特に、若い世代の人たちに参加していただき、長期的に活動を続けていきたいです。

町に望むことはどんなことですか

交通の便を充実させてほしいです。

議員の方々には議会でもどんな発言していただきたいです。

議会だよりは読んでいますか

読んでいます。最近書籍などが紙媒体からデジタル媒体に変わっていく世の中ではありますが、「稲美議会だより」は変わらず紙媒体での発行を望みます。

後記

9月定例会で役員改選がありました。新しい委員で1年間編集作業を行うことになりました。今回は町制施行70周年記念事業として実施した「子ども議会」の特集を掲載しました。一人ひとりの率直な思いをご覧ください。

(木村 圭二)

議会広報常任委員会

委員長	木村 圭二
副委員長	藤田 義光
委員	小笠 竜広
委員	山口 守
委員	松村 芳樹
委員	大路 恒

